

2023. 3.19 浜寺聖書教会

## 「放蕩息子のたとえ」

聖書箇所:ルカの福音書15章1～3節、11～32節

### 命題: ひとりの罪人が悔い改めるなら天に喜びがある!

#### 背景

パリサイ人、律法学者の主張:「罪人がひとりでも神のみ前で抹殺されるなら天に喜びがある」パリサイ人らは罪人を突き放し、彼らの滅びを求めていた —

そんなパリサイ人らに対し、お話を聞きたいと集まってくる罪人たちを心優しく迎えられ、彼らをさとし、また食事などにも進んで参加されたのがイエス様だった。

このことがパリサイ人たちの強烈な不満となった。

ここでのイエス様のお話は、イエス様のお話を聞こうと集まってきた、当時虐げられていた罪人たちに向けて、そしてその中に居た今回の論敵であるパリサイ人、律法学者に向けて語られたものです。

#### 1. 明らかな罪 11～13節 <自我に生きる人の姿>

罪とは、人生において神にその本来の位置を与えないことであり、神のものである権力を篡奪することである。(パークレー ルカの福音書注解p271)

※篡奪とは、本来君主の地位の継承資格がないものが君主の地位を奪取すること。

##### A. 弟の罪 12～13節

あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が命じられたとおり。申命記 5章16節 a

罪から来る報酬は死です。ローマ人への手紙 6章23節 a

#### <ポイント1>

罪とは神の存在(権力、支配、所有権など)を無視して、創られた 自分勝手にに生きることです。

というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。それゆえ、神について知られることは、彼らに明らかです。それは神が明らかにされたのです。神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。

それゆえ、彼らは神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。

ローマ人への手紙 1章18～21節

罪の基準は人それぞれではありません。神の命令に対してすべきこと、してはいけないことが罪の基準です。

##### B. 罪の悲惨さ 14～16節

あなたがこの世の中で期待しているもの、執着しているものはなんですか？それはあなたに本当の幸せを与えてくれますか？

## 2. 17～20a 節

<悔い改めとは>

自分中心の生き方から 180 度向きを変え神様中心の生き方へと心の向きを変えることです。心の変化、向きを表しています。

悔い改め(メタノイア、回心)には、罪から神に立ち返る、心の底からの後悔が含まれます。

悔い改めた罪人は神の赦しを受け入れるのに相応しい状態にあるのです。F.F.ブルース

悔い改めのステップ1 罪を認め後悔すること

悔い改めのステップ2 神に向かい行動に移すこと

<ポイント2>

悔い改めとは、心の向きを自分から神へと 180 度方向転換することです

## 3. 20b 節～24 節

- ・かわいそうに思い: compassion 深い同情、哀れみを持つ
- ・彼を抱き口づけした: 直訳すると、首を抱きかかえて何度も何度も口づけしたという意。
- ・急いで: 息子に恥をかかせないようにするためとも解せる。その瞬間に息子の立場が変えられたことを表している。
- ・一番良い着物: 最高位のもの、それ以上はないものと言う意。父親のこれ以上ないという最高の喜びを表している。
- ・手に指輪をはめさせ: 指輪は古代においては権威と威厳を示すものとして用いられた。新約においては栄誉と地位を表すものとなっている。  
父親は弟を本来の息子として扱い、彼の相続者として認めているということ。
- ・足に靴を: 当時、奴隷は靴を履いていなかった。遠い国で最終的には彼は奴隷だったということを表している。そこに父親は息子に自由のしるしとしての靴を履かせた。
- ・父親の大きな喜び、その理由は何でしたか？

<まとめ>

- ①死んでいたのが生き返った(未完了形: 継続と反復 ずっと～していた)
- ②いなくなっていたのが見つかった

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。ルカの福音書 19 章 10 節

ポイント3

神はあなたを私を愛してくださっている

#### 4. 隠れた罪 25～32 節 <いつわりの従順>

人はうわべを見るが、主は心を見る。

サムエル記第一 16章7節b

主を求めよ。お会いできる間に。近くにおられるうちに、呼び求めよ。悪者はおのれの道を捨て、不法者はおのれのはかりごとを捨て去れ。主に帰れ。そうすれば、主はあわれんでくださる。私たちの神に帰れ。豊かに赦してくださるから。

イザヤ書 55 章6～7節

#### ポイント4

偽りの従順はいらない。神は心を見ておられる。

・私の心は主のみこころに沿っているだろうか？

・私の礼拝や奉仕は心からのものだろうか？